



▶ご注文先
FAX : 03-3264-5232
 〒101-0051
 東京都千代田区神田神保町 2-23 北井ビル
 TEL 03-3264-5254

書店様ご注文欄

貴店名・帖合

ご注文日		年	月	日
ご担当者様		冊数計		
		様 冊		

<p>検証 南兵庫大震災 '95・1・17</p> <p>渡辺好庸 著</p>	<p>四六判並製／256頁 定価(本体価格1500円+税) 1995年7月刊 ISBN978-4-8460-0029-5</p>	<p>震災から半年。たった20秒で失われた都市の機能は次第に回復しつつあるように見える。が、未だ不自由さの中から脱出できない人は数多い。本書は、被災者を人間として見る暖かさをもって震災を検証し、復興への道を考える。</p>	<p style="text-align: right;">冊</p>
<p>噴火と地震の科学</p> <p>木村政昭 著</p>	<p>四六判上製／250頁 定価(本体価格2200円+税) 1993年9月刊 ISBN978-4-8460-0216-9</p>	<p>プレート・テクトニクス理論にのっとり、三宅島、大島三原山の噴火、雲仙・普賢岳の熔岩流出などをビタリと予測・的中させてきた著者が、地震と噴火の関係を分析する。</p>	<p style="text-align: right;">冊</p>
<p>わたしの山小屋日記〈春〉 ——動物たちとの森の暮らし</p> <p>今泉吉晴 著</p>	<p>四六変判上製／96頁 定価(本体価格1400円+税) 2012年6月刊 ISBN978-4-8460-1143-7</p>	<p>山小屋に暮らすナチュラルリストが見つけた、身近な動物たちの知恵を探る楽しみ、自然との交流がもたらす不思議な心の動き。生きものたちとのかけがえのない日々を深い愛情をこめて描き出す、みずみずしい“里山の動物誌”。</p>	<p style="text-align: right;">冊</p>
<p>わたしの山小屋日記〈夏〉 ——動物たちとの森の暮らし</p> <p>今泉吉晴 著</p>	<p>四六変判上製／96頁 定価(本体価格1400円+税) 2012年7月刊 ISBN978-4-8460-1163-5</p>	<p>きらめく太陽に木々をわたる風、楽しい川遊び……山小屋の夏は、命がひとときわ輝く季節。窓辺にやってくるカエル、溪流のカワネズミ、ムササビの赤ちゃんとの出会いなど、身近な生きものたちの姿をみつめた、幸せをはこぶ珠玉のエッセイ。</p>	<p style="text-align: right;">冊</p>
<p>わたしの山小屋日記〈秋〉 ——動物たちとの森の暮らし</p> <p>今泉吉晴 著</p>	<p>四六変判上製／96頁 定価(本体価格1400円+税) 2012年9月刊 ISBN978-4-8460-1175-8</p>	<p>爽りの秋、森はクルミやハシバミの実でいっぱい。“カリカリ”……じっと耳をすますと、誰かが殻をかじる音がします。元気なリスやアカネズミ、ヒメネズミに土使いの名手ヒミズ。さあ、動物たちに会いに、森へ出かけてみませんか。</p>	<p style="text-align: right;">冊</p>
<p>わたしの山小屋日記〈冬〉 ——動物たちとの森の暮らし</p> <p>今泉吉晴 著</p>	<p>四六変判上製／96頁 定価(本体価格1400円+税) 2012年11月刊 ISBN978-4-8460-1179-6</p>	<p>冬、生きものたちの暮らしは大きな変化を迎えます。山小屋では本格的な冬支度が始まり、きらめく雪原にはカモシカやヤマドリ足跡が記されて……。自然との交感と、生きものたちとの交流を美しい筆致で描く森の動物誌、いよいよ最終章。</p>	<p style="text-align: right;">冊</p>
			冊
			冊
			冊
			冊
			冊



▶ご注文先

FAX : 03-3264-5232

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町 2-23 北井ビル

TEL 03-3264-5254

書店様ご注文欄

貴店名・帖合

ご注文日 年 月 日

ご担当者様

冊数計

様

冊

■自然・環境 >> 環境・エネルギー

page 1/4

<p>ゴミ箱の中の地球 ——地球環境レポート</p> <p>小杉隆 著</p>	<p>四六判並製／206頁 定価(本体価格1000円+税) 1989年9月刊 ISBN978-4-8460-0010-3</p>	<p>地球汚染の犯人はなかなか特定できない。直接の犯人は私たちの「生活」それ自身だからである。特定の企業の行為を中止させ、汚染源を断れば環境破壊は解決するといった従来の公害問題とは、性格が根本的に違っている。問題はさまざまな領域において錯綜し、複雑さをきわめている。</p>	<p>冊</p>
<p>日本農業論批判</p> <p>二野瓶徳夫 著</p>	<p>四六判上製／208頁 定価(本体価格1500円+税) 1994年6月刊 ISBN978-4-8460-0017-2</p>	<p>日本社会の変革はどのようにして、どのように実現しうるのか。そのなかで農業はどうありうるのか。日本農業論が存在している現状と、それぞれの農業論を構成する論理的前提となっている思い込みについて批判検討する書。</p>	<p>冊</p>
<p>江戸・パリ・ロンドン ——比較都市論の旅</p> <p>岡並木 著</p>	<p>四六判上製／352頁 定価(本体価格3000円+税) 1994年12月刊 ISBN978-4-8460-0020-2</p>	<p>江戸時代、江戸・パリ・ロンドン是世界三大都市と呼べるほどの規模をもった大都市であった。三つの都市の道路、下水道、都市計画などを歴史的に比較し、現在の日本の大都市が抱える問題を浮き彫りにする論考。</p>	<p>冊</p>
<p>水の思想</p> <p>玉城哲 著</p>	<p>四六判上製／263頁 定価(本体価格1500円+税) 1979/1/25 (1987/8/30/7 刊行) ISBN978-4-8460-0054-7</p>	<p>水についての研究を続けてきた著者が独自の視点から“水の世界”について語る論考集。日本人の感性と行動様式に存在する“水社会”とは?</p>	<p>冊</p>
<p>環境の美学 ——ムラの風景とアメニティ</p> <p>勝原 文夫 著</p>	<p>B6判製／293頁 定価(本体価格2800円+税) 1999年9月刊 ISBN978-4-8460-0075-2</p>	<p>日本人の原風景には、農村の『やすらぎ感』が横たわり、アメニティ＝生活の快適度の指標となっている。個人的原風景から国民的・人類的原風景へと論をすすめる著者はルーラル・デザインとアメニティとの関係を探求する。</p>	<p>冊</p>
<p>水談義</p> <p>堀越正雄 著</p>	<p>四六判上製／228頁 定価(本体価格2000円+税) 1993年1月刊 ISBN978-4-8460-0104-9</p>	<p>掘り出された江戸上水遺跡、芭蕉と水道工事、樋口一葉菊坂旧居跡などを訪ねて江戸東京の水を考える。水と暮らしの文化誌。</p>	<p>冊</p>
<p>トランスポート・イン・シティーズ</p> <p>ブライアン・リチャーズ 著／木村知可子 訳</p>	<p>A5変判並製／250頁 定価(本体価格2500円+税) 1992年12月刊 ISBN978-4-8460-0105-6</p>	<p>自動車の交通量を減らすことは可能か? 自家用車に代わる移動システムはあるのか? トランジットモール、ロードプライシング、デュアルモードバスなど豊富な事例を通して、都市交通計画の理念の転換を迫る。</p>	<p>冊</p>
<p>井戸と水道の話</p> <p>堀越正雄 著</p>	<p>四六判上製／288頁 定価(本体価格2200円+税) 1981年2月刊 ISBN978-4-8460-0162-9</p>	<p>神田・玉川上水、甲府・仙台・金沢等、城下町の水道の用途と特徴を逸話を交えて描き、我が国独自の上総掘りを再現。</p>	<p>冊</p>
<p>舗装と下水道の文化</p> <p>岡並木 著</p>	<p>四六判上製／296頁 定価(本体価格2000円+税) 1985年3月刊 ISBN978-4-8460-0164-3</p>	<p>東京の砂漠化に義憤と不安感をいだき、英・独・仏・米・蘭の各国に綿密な取材を展開、豊富なデータを駆使し興味深いエピソードを交えながら、舗装と下水道の歴史・現在・未来・文化を語る。</p>	<p>冊</p>
<p>大河ミシシッピ ——アメリカ水文化の原点</p> <p>家永泰光 著</p>	<p>四六判上製／288頁 定価(本体価格2500円+税) 2004年7月刊 ISBN978-4-8460-0170-4</p>	<p>アメリカの今日の繁栄はミシシッピ川を抜きには考えられない。世界第3位の大河の水源地から河口までをたどり、その豊饒な水文化を紹介する。</p>	<p>冊</p>



▶ご注文先

FAX : 03-3264-5232

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町 2-23 北井ビル

TEL 03-3264-5254

書店様ご注文欄

貴店名・帖合

ご注文日 年 月 日

ご担当者様

冊数計

様

冊

■自然・環境 >> 環境・エネルギー

page 2/4

<p>カナートイランの地下水路</p> <p>岡崎正孝 著</p>	<p>四六判上製/276頁 定価(本体価格2500円+税) 1988年11月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-0171-1</p>	<p>イラン社会の水文化と構造。オアシス都市の高度な技術と水文化を再現した地下水路=カナートに依存するイランの政治・経済・社会を描く！ 1989年度開発途上国研究奨励賞受賞。</p>	冊
<p>東海地震はいつ起こるのか 地球科学と噴火・地震予測</p> <p>木村政昭 著</p>	<p>四六判上製/293頁 定価(本体価格2500円+税) 2003年4月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-0370-8</p>	<p>最新の宇宙論にもとづき、従来のプレート・テクトニクス理論では説明しえなかった噴火=地震のメカニズムを探り、東海地震に関するあらたな予測を提示する。1992年徳間書店刊「噴火と地震-揺れ動く日本列島」の新版。</p>	冊
<p>桜井淳著作集第3巻 科学技術社会論ノート</p> <p>桜井淳 著</p>	<p>四六判上製/504頁 定価(本体価格5000円+税) 2005年9月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-0395-1</p>	<p>原子力界を研究対象とする唯一無二のフィールドノート。技術論と人材論という二つの視座から国民の安全を具体的にみつめていく実践的試論。</p>	冊
<p>桜井淳著作集第4巻 市民的危機管理入門</p> <p>桜井淳 著</p>	<p>四六判上製/648頁 定価(本体価格6200円+税) 2005年7月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-0396-8</p>	<p>不祥事続きの原子力界は、日本社会の縮図なのか？ 技術事故の難題に取り組んできた著者の「情況への発言」。1998~2002年分を一挙収録。</p>	冊
<p>桜井淳著作集第5巻 安全とは何か ——市民的危機管理入門(続)</p> <p>桜井淳 著</p>	<p>四六判上製/464頁 定価(本体価格5000円+税) 2005年4月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-0397-5</p>	<p>国民の安全と自己保身、大切なのはどちらか？ 東アジアの原発を自腹で調査、「もんじゅ」事故の原因を独自に究明、地震による新幹線橋脚崩落を予言、いま求められる真の安全論。</p>	冊
<p>桜井淳著作集第6巻 技術と文明 ——星野芳郎との対話</p> <p>桜井淳 著</p>	<p>四六判上製/456頁 定価(本体価格5000円+税) 2004年11月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-0398-2</p>	<p>原子力は21世紀を存続可能にしたか？ 1990~2000年まで、10年に渉って続けられた技術評論の草分け的存在との対話を集成。膨張する現代文明の光芒を読み解く。</p>	冊
<p>地球炎上 オイル・クラッシュ</p> <p>茂田滄海 著</p>	<p>四六判並製/238頁 定価(本体価格1400円+税) 2007年7月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-0679-2</p>	<p>石油枯渇が核戦争を誘発？ 異常気象が世界を破滅へ。今こそ人類の叡知を結集し、ハーフカット・ライフをすすめ、ポスト・オイルの文明構築を。</p>	冊
<p>地球温暖化問題と森林行政の転換</p> <p>滑志田隆 著</p>	<p>A5判上製/387頁 定価(本体価格3800円+税) 2007年12月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-0681-5</p>	<p>深刻化する地球温暖化問題の全体像を提示しつつ温暖化防止を巡る国際的・国内的な動向を踏まえ日本の森林行政・森林保全の在り方に言及する。</p>	冊
<p>文明の衝突と地球環境問題 ——グローバル時代と日本文明</p> <p>金子晋右 著</p>	<p>四六判上製/281頁 定価(本体価格2500円+税) 2008年9月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-0690-7</p>	<p>古今の文明は環境の劣化によって崩壊してきた。市場原理主義は現在、地球環境を喰い潰しながら世界中を巨大なアウシュヴィッツ=絶滅収容所に行っている。地球環境再生の鍵を示す斬新な文明論。本書は2009年11月28日に、比較文明学会研究奨励賞(伊東俊太郎賞)を受賞。</p>	冊
<p>新型世界食料危機の時代 ——中国と日本の戦略</p> <p>高橋五郎 著</p>	<p>四六判並製/288頁 定価(本体価格2000円+税) 2011年10月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-1032-4</p>	<p>中国と日本の農村を40年に亘って歩き続けた著者は、両国の土壌がやせ細っていく現実と、農業等による食料そのものの危険性を直視しその変革を、農業の「開国と自由化」に求める。</p>	冊



▶ご注文先

FAX : 03-3264-5232

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町 2-23 北井ビル

TEL 03-3264-5254

書店様ご注文欄

貴店名・帖合

ご注文日 年 月 日

ご担当者様

冊数計

様

冊

■自然・環境 >> 環境・エネルギー

page 3/4

<p>述5 ——反原発問題 近畿大学国際人文科学研究所 著</p>	<p>A5判並製/200頁 定価(本体価格1900円+税) 2012年3月刊 ISBN978-4-8460-1079-9</p>	<p>原発は美術・思想・社会・運動・文学・サブカル・写真・演劇などでどのように描かれてきたのか。岡崎乾二郎、土井淑平、黒古一夫、奥泉光、いとうせいこう、桂秀実が縦横無尽に論じる。</p>	<p>冊</p>
<p>原発禍を生きる 佐々木孝 著</p>	<p>四六判並製/264頁 定価(本体価格1800円+税) 2011年8月刊 ISBN978-4-8460-1101-7</p>	<p>福島第一原発から約25キロ。いまま南相馬市に認知症の妻と暮らしながら、情報を発信し続ける反骨のスペイン思想研究家がいる。「私は放射能から逃げない」—震災後、朝日新聞等で注目され、1日に5千近いアクセスがあったブログ“モノディアログス”、待望の単行本化。</p>	<p>冊</p>
<p>シリーズ 人と仕事1 地震の予知はできますか? 木村政昭 著</p>	<p>四六判並製/208頁 定価(本体価格1300円+税) 2012年1月刊 ISBN978-4-8460-1113-0</p>	<p>“地震の目”を駆使した独自の予知メソッドを確立した異色の海洋地質学者・木村政昭教授が語る、人生と仕事の全体像。「数時間前の地震予知ができる時代はきっときます」</p>	<p>冊</p>
<p>世界大不況と環境危機 ——日本再生と百億人の未来 金子晋右 著</p>	<p>四六判上製/248頁 定価(本体価格2500円+税) 2011年12月刊 ISBN978-4-8460-1120-8</p>	<p>グローバルな規模での経済危機・社会危機・環境危機をもたらした“新自由主義”の実態を明らかにし、新自由主義路線からの回避策を示す。日本再生の具体案をも提示する意欲作!</p>	<p>冊</p>
<p>シリーズ 人と仕事2 原子力発電は安全ですか? 桜井淳 著</p>	<p>四六判並製/208頁 定価(本体価格1300円+税) 2012年1月刊 ISBN978-4-8460-1122-2</p>	<p>人と仕事2 日本の原発を現場で体験しつつ、在野の精神にのっかって、《技術評論》を続けてきた著者の原発批判は正確かつ厳しい。「いまの安全審査指針のままでは危険です。全基停止にする以外にない」</p>	<p>冊</p>
<p>風と風車の物語 ——原発と自然エネルギーを考える 伊藤章治 著</p>	<p>四六判並製/288頁 定価(本体価格2000円+税) 2012年7月刊 ISBN978-4-8460-1149-9</p>	<p>大量生産・大量消費の消尽の文明か、自然と共生する維持可能な文明か。風車に代表される自然エネルギーづくりの現場を歩き、各地の先進的な試みを紹介しつつ、原発の行方と再生可能エネルギーの未来を考える“風の社会・文化史”。</p>	<p>冊</p>
<p>やいづ平和学入門 ——ビキニ事件と第五福竜丸 加藤一夫 著</p>	<p>四六判並製/240頁 定価(本体価格2000円+税) 2012年11月刊 ISBN978-4-8460-1188-8</p>	<p>「3・11」をふまえて、半世紀にわたって封印されてきた「ビキニ事件」(1954年)を検証する。ビキニ事件とゴジラ映画の関係にも触れた、学校では学べない平和教育の教科書。</p>	<p>冊</p>
<p>述6 ——3.11後から見た戦後思想 近畿大学国際人文科学研究所 編</p>	<p>A5判並製/212頁 定価(本体価格1900円+税) 2013年3月刊 ISBN978-4-8460-1213-7</p>	<p>戦後思想の系譜を《3.11》のもとに読み直す。</p>	<p>冊</p>
<p>いわきから問う東日本大震災 ——フクシマの復興と日本の将来 東日本国際大学東洋思想研究所 編 編</p>	<p>四六判上製/264頁 定価(本体価格2000円+税) 2013年6月刊 ISBN978-4-8460-1242-7</p>	<p>「超過酷事故」が問いかけるもの。東日本大震災とは何だったのか。震災を自然科学の立場から、人間の心の復興をめぐる問題にいたるまで幅広く考えるための問題提起の書。</p>	<p>冊</p>
<p>日本「原子カムラ」行状記 桜井淳 著</p>	<p>四六判並製/264頁 定価(本体価格2000円+税) 2013年11月刊 ISBN978-4-8460-1281-6</p>	<p>かつて一時期、原子力開発に携わり、原発の「安全解析」と「事故分析」を経験した著者が、不正の多い「原子カムラ」のメカニズムを自身の経験と「聞き取り調査」で明らかにする!</p>	<p>冊</p>



▶ご注文先

FAX : 03-3264-5232

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町 2-23 北井ビル

TEL 03-3264-5254

書店様ご注文欄

貴店名・帖合

ご注文日 年 月 日

ご担当者様

冊数計

様

冊

■自然・環境 >> 環境・エネルギー

page 4/4

<p>日本「原子カムラ」惨状記 ——福島第1原発の真実 桜井淳 著</p>	<p>四六判並製／296頁 定価(本体価格2400円+税) 2014年9月刊 ISBN978-4-8460-1353-0</p>	<p>2012年に出された『政府事故調査報告書』と『国会事故調査報告書』等を、安全管理に関する第一人者が、「工学的観測データに真実を語らせる」手法をもって分析する渾身の一冊！</p>	<p>冊</p>
<p>科学技術社会論序説 桜井淳 著</p>	<p>A5判上製／192頁 定価(本体価格3000円+税) 2015年11月刊 ISBN978-4-8460-1486-5</p>	<p>原発・新幹線の事故／故障に関して「桜井技術論」と呼ばれる方法論を提示した著者が、東大大学院総合文化研究科在学中にまとめた「科学技術社会論」体系化のための論文集。</p>	<p>冊</p>
<p>環境文明論 ——新たな世界史像 安田喜憲 著</p>	<p>四六判上製／648頁 定価(本体価格4800円+税) 2016年3月刊 ISBN978-4-8460-1515-2</p>	<p>〈風土こそ歴史を生む母なる大地である〉——環境文明論を学ぶことの意味からはじまり、未来の生命文明のあり方まで、これまでの環境考古学・環境文明論に関する論考を一冊にまとめた「安田文明論」の決定版。「彼の主張に私は同感である。」梅原猛氏推薦！</p>	<p>冊</p>
<p>日本「原子カムラ」昏迷記 桜井淳 著</p>	<p>四六判並製／260頁 定価(本体価格2400円+税) 2016年5月刊 ISBN978-4-8460-1526-8</p>	<p>現在の様々な社会的不祥事の根底にあるものを読み解きながら、「福島第一原発事故」の実際とその未解明問題を、東京電力への200回に及ぶ質疑応答を通して明らかにする！</p>	<p>冊</p>
<p>夢みる野菜 ——能登といわき遠野の物語 細井勝 著</p>	<p>四六判並製／272頁 定価(本体価格1600円+税) 2016年6月刊 ISBN978-4-8460-1543-5</p>	<p>日本の食と地域を考える 能登の先端・珠洲市の限界集落で無農薬農法による野菜作りをする若者と、過疎化が進むいわき市遠野で震災の風評被害に立ち向かう生産者が、野菜をつうじた交流をもとに〈新たな地域社会〉の再生を目指す。</p>	<p>冊</p>
<p>二〇ミリシーベルト ——福島第一原発事故 被ばくの深層 空本誠喜 著</p>	<p>四六判並製／248頁 定価(本体価格2000円+税) 2017年3月刊 ISBN978-4-8460-1607-4</p>	<p>SPEEDIはなぜ活かされなかったのか？ チェルノブイリやヒロシマと、フクシマはどこが違うのか？ 放射線防護の第一人者、小佐古敏荘教授（元内閣官房参与）の国際標準の考え方と判断、決断に迫る！</p>	<p>冊</p>
			冊
			冊
			冊
			冊
			冊